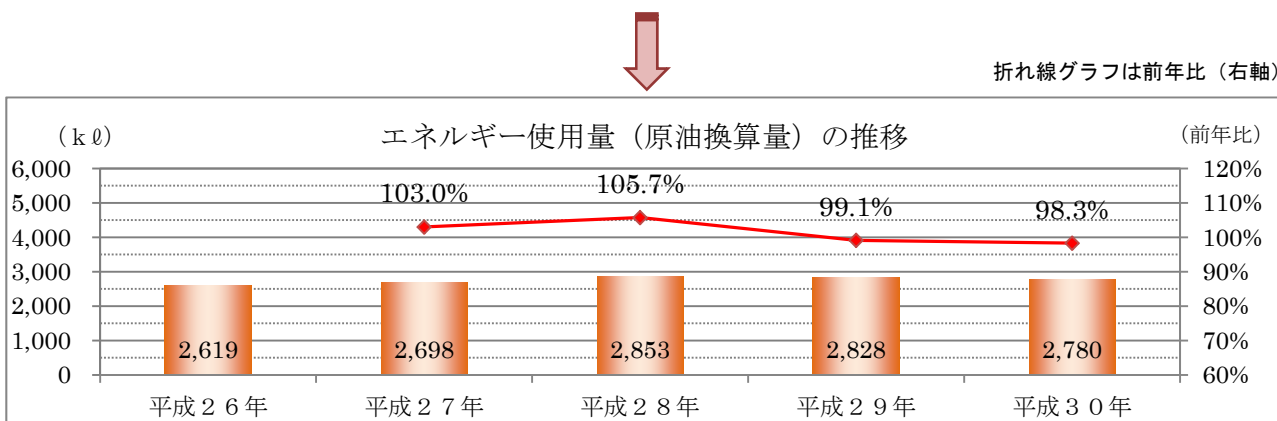


平成30年度 上半期 武庫川学院エネルギー使用状況

武庫川学院全体のエネルギー使用状況は下記のとおりです。
平成26年度から平成30年度までを比較しグラフ化しています。

① 上半期のエネルギー使用量の推移

エネルギー使用量は、平成26年度までは照明・空調などを最新のものに更新することで徐々に減っていました。平成27年度は看護科学館・学校教育館・武道館の建設により、平成28年度は夏の酷暑による空調使用の増加等により少し増えました。平成29年度は9月が涼しかった影響もあり、前年を下回りました。平成30年度は、薬学部の設備更新や運用変更の取組効果で前年を下回りました。



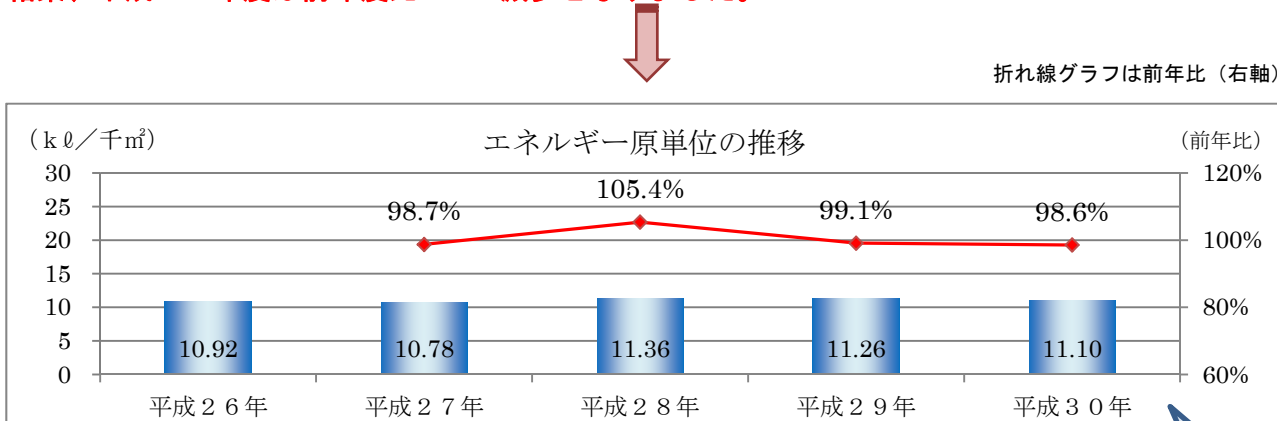
※1（原油換算量）

電気・ガソリン・重油・ガスなど、異なるエネルギーや燃料を共通の単位を用いて合計・比較するために、原油の単位量あたりの発熱量を用いて、原油の量 (KL や L) に換算することを原油換算といいます。（省エネ法で定める計算数値）

② 上半期のエネルギー消費原単位の推移

エネルギー消費原単位もエネルギー使用量と同様に推移しました。

結果、平成30年度は前年度比 1.4%減少となりました。



※2（エネルギー消費原単位）

総エネルギー使用量をエネルギー使用量と密接な関係を持つ値（本学では建物の延床面積）で割ったもの。
省エネ法では、この数値を下げることを目標にしています。

前年度比
-1.4%

※ エネルギー使用の無駄をなくして、地球環境保全につなげましょう。